



2014

<http://www.city.sapporo.jp/chuo/>

地域FM番組

「中央区だより」 毎週金曜11時30分～
ラジオカロスサッポロ (FM 78.1 MHz)

編集：中央区市民部総務企画課広聴係

〒060-8612 札幌市中央区南3条西11丁目

☎011-205-3216 ㊟011-231-6539

語り合いから生まれる

新しい札幌

住みよいまちづくりに向けて、区民と市長が膝を交えてじっくりと意見交換する「ふらっとホーム」。中央区では、平成25年11月23日（祝）にさっぽろテレビ塔（大通西1）で「**きっと見つかる、新しい札幌。ふらっとホーム2013 in 中央区**」を開催しました。

今月号では、参加いただいた8人の方々からの4つのテーマに関する主なご意見・ご提案と、上田市長や岸中央区長からの回答を紹介します。また、対話の中で、参加者から区内で「ぜひここは行ってみて！」というおススメの見どころも伺いましたので併せて紹介します。



▲参加者全員で記念の一枚。テレビ父さんと一緒に

▶和やかな中にも真剣な対話が交わされました



中央区役所関連施設

【市コールセンター ☎ 222-4894】

中央区役所（南3西11）（代表）☎ 231-2400
中央保健センター（南3西11）☎ 511-7221
中央区土木センター（北12西23）☎ 614-5800
中央区民センター（南2西10）☎ 271-1100
旭山公園通地区センター（南9西18）☎ 520-1700

大通公園（北1西9）
東北（北2東2）
苗穂（北1東10）
東（南2東6）
豊水（南8西2）
西創成（南5西7）
曙（南11西10）

まちづくりセンター

☎ 251-6353
☎ 251-8119
☎ 261-3669
☎ 241-1696
☎ 521-0204
☎ 521-2384
☎ 511-0116

山鼻（南23西10）
幌西（南11西14）
西（南6西13）
南円山（南9西21）
円山（北1西23）
桑園（北7西15）
宮の森（宮の森2-11）

☎ 511-6371
☎ 561-3256
☎ 561-7124
☎ 561-2472
☎ 611-3367
☎ 621-3405
☎ 644-8760

----- 中央区役所の主な課・係（8時45分～17時15分（土・日曜、祝・休日、年末年始を除く）） -----

総務企画課

庶務係 ☎ 205-3205
地域安全担当 ☎ 205-3205
選挙係 ☎ 205-3206
広聴係 ☎ 205-3216
地域振興課 ☎ 205-3221
統計担当係 ☎ 205-3222

戸籍住民課

戸籍係 ☎ 205-3232
住民記録係 ☎ 205-3238
保健福祉課
地域福祉係 ☎ 205-3301
福祉助成係 ☎ 205-3302
給付事務係 ☎ 205-3303

福祉支援係

☎ 205-3304
保健支援係 ☎ 205-3305
健康・子ども課
（保健センター内）☎ 511-7221
保護課
相談担当係 ☎ 205-3274

保険年金課

給付係 ☎ 205-3341
保険係 ☎ 205-3342
収納・二係 ☎ 205-3343
年金係 ☎ 205-3344

市税に関するお問い合わせは **中央市税事務所**（北2東4 サッポロファクトリー2条館4階）へ

納税課

市税証明・口座振替 ☎ 211-3912
法人の収納担当 ☎ 211-3074
納税相談担当 ☎ 211-3913

市民税課

個人の
市・道民税担当 ☎ 211-3914
特別徴収担当 ☎ 211-3075

諸税課

法人市民税担当 ☎ 211-3071
事業所税担当 ☎ 211-3073
軽自動車税担当 ☎ 211-3076

固定資産税課

土地担当 ☎ 211-3917
家屋担当 ☎ 211-3918
償却資産担当 ☎ 211-3079

公共交通

こんどう
近藤さん

政府からの発表などで、公共のインフラの維持・運営には膨大なコストが掛かると聞いています。

そこで、持続的な公共交通機関の運営、行政サービスの提供のために、民間資金などの活用、つまり市営交通運営の民営化についてどのようにお考えなのか伺います。



うえだ
上田市長

公共交通を維持していくためには、まずしっかりと利用していただくことが大事です。地下鉄であれば1日60万人が乗れば、あまり心配する必要はありません。

民営化は、経営の合理化を図る上で重要な視点で、これまでも議論しているところですが、これからいろいろなご意見を寄せていただきたいと思います。

上田市長

お困りの降りるところの手すりなどは、大切なことで、これからの高齢社会で必要とされる方がたくさん出てくると思います。

よりしっかりと工夫することができないか、交通局とも話し合っていきたいと思っています。

おおもり
大森さん

私は足が弱いので、市電の段差の昇り降りが大変です。特に降りる時が怖いんです。足が丈夫な人は考えもみませんが、一段二段、降りるのが怖いのです。

降りる時に、左側にはつかまるものがあるのですが、私は右利きですし、世の中には右利きの人が多いので、右側にも何かつかまるものが取り付けられないか考えていただきたいと思います。



どうりょう
堂領さん

市電はJRの駅に隣接していないので、地方の人には乗る機会が少ないものです。

そこで、市電を桑園までぜひ延伸してほしいと思います。桑園駅と札幌駅を通るループの市電ができれば、地方の人なども使いやすくなるし、将来新幹線が開通した場合に、市電を使ってもらえると思います。

上田市長

市電については、その存廃について徹底的に議論をし、存続させることを決めました。さらに、札幌駅と直結させるという提言までいただきました。

どの通りになるか分かりませんが、延伸を検討するということは政策として決定しているところです。



きし
岸中央区長

今、保育ママと言って、少人数のお子さんを定期的に預かる制度があります。その対応が柔軟になれば、一時的な保育も可能になるのかなと思いますが、さまざまな要請にどう応えられるか、またサービスとして成り立つかについては、もう少し議論が必要だと思っています。

たおか
田岡さん

子育て世代の女性が気軽にショッピングや美容室に行けると、気分転換になりますし、地域の活性化にもなると思います。

商店街などで、子どもを一時的に預けることができ、地域と密着した子育てができる場があればいいなと思います。



ささき
笹木さん

発達に心配のあるお子さんの作業療法を行う仕事をしています。

子育て支援の方向から、赤ちゃんサロンのようなかたちで臨床心理士や作業療法士などの専門家を配置して、発達がゆっくりなお子さんのための育児と遊びの場が作られるとよいと思っています。

上田市長

早期に発達障がいを見出すことはとても大事です。札幌市では、子育てサロンでの遊びの中から気づきを持ってもらい、「ちあふる」などの支援機関につなげる戦略をとっています。

岸中央区長

子育てサロンなどの場の中で、こちら側から声を掛けていって、さりげなく寄り添い、信頼関係を築いていくことが求められていると思います。



子育て

上田市長

自殺については「きづく」「つなぐ」「みまもる」をポイントに「わたしは、ほっとけない。」運動を展開しています。

やはり冬になると気持ちが落ち込みますが、雪かきの運動や雪まつりなど雪と親しみ、共生するという生き方、日照時間が少ない分、自分たちが努力して社会全体を明るくしていこうというのが札幌のまちではないかなと思っています。

なかむら
中村さん

精神科医の仕事をしています。札幌は冬の日照時間が短いため、冬季うつ病の発症率が高く、自殺にもつながると考えられています。

冬季うつ病対策で最も大切なことは日照不足を補うことです。例えば、高い照度の照明器具（右写真）を公共施設に設置するなど、札幌独自のうつ病、自殺予防への対策を提案します。



福祉

観



くどう
工藤さん

札幌市のキャッチコピーを作ってはどうでしょうか。私が考えてきたのは「ほっと雪まち」です。「雪」は絶対に欠かせないキーワードで「ほっと」の部分に、温かい人情味の部分と熱い観光スポットだぞという思いを込めてみました。

上田市長

とてもすてきなお話ですね。札幌市でもいろいろ考えております。今のキャッチフレーズは「サッポロスマイル」です。笑顔は世界共通ということで、人を温かくお迎えする笑顔のまちというモチーフで作りました。これからじわじわと広がればいいなとPRを進めているところです。



▲サッポロスマイルのロゴマーク

光

上田市長

それぞれの人にとってここが一番というところを持つのが大事だと考えています。僕が薦めるとすれば道庁赤レンガです。皆さんは、赤レンガの方を見て景色が良いと言いますが、その道庁を背にして東側を眺めた空の広がりや素晴らしいです。これだけの大都市で空があの様にきれいに見えるのは、他にないと思います。

かのう
加納さん

札幌市の魅力を伝える場所として、時計台や赤レンガもいいのですが、もっと身近にはないものか、またそれを知る機会がないのかと感じています。※この発言から参加者の皆さんに中央区の見どころについて語っていただきました（他の皆さんのおススメは下記をご覧ください）。



中央区のおススメ

藻岩山展望台（大森さん）

年間パスポートがとてもお得。何回乗っても2千800円。リスもフクロウも見ることができますよ。

知事公館（堂領さん）

近隣の保育所の子どもたちが居て、子どもたちを見ながら季節も楽しめるという感じです。

豊平川ウォーターガーデン（工藤さん）

水の力で遊ぶ遊具があって大人でも楽しめます。

創成川公園（中村さん）

交通量が多い道路に挟まれていながら自然を感じ

られるというのは札幌の魅力の一つだと思います。

伏見稲荷神社（笹木さん）

藻岩山麓通から赤い鳥居がわっと並んでいるのはとてもきれいです。すごくほっとする場所です。

中島公園（田岡さん）

すごく広くて一日いっぱい居ても飽きません。都心でこれだけの自然があるのはとても魅力的です。

札幌の夜景（岸中央区長）

藻岩山、旭山記念公園、大倉山ジャンプ競技場から見る札幌の夜景は本当に素晴らしいです。

おきだてようこ
沖館葉子さん

フリーパーソナリティー。中央区ふらっとホームの司会を前身のタウントークから通算6回担当。

司会の沖館さんから

今年の対話者の皆さんもすてきな方たちでした。さすが、緊張していますと言いながらしっかりとご自分の考えを市長に伝えてくださいました。いろいろな意見をいただきましたが、この場に限らず、普段から自分の意見を持ちつつ、家族や職場など周りの人と話し合いを持つことが大切だと思っています。



記事に関するお問い合わせ

総務企画課広聴係 ☎205-3216
FAX231-6539

「ふらっとホーム」に関するお問い合わせ

市長政策室市民の声を聞く課 ☎211-2045
FAX218-5165

中央区の人口と世帯数

平成26年2月1日現在
人口 230,972人
(前月比+139)
男 104,483人
女 126,489人
世帯数 128,816世帯
(前月比+96)

交通事故発生件数

	発生件数	死者数	傷者数
中央区	154 (-26)	0 (0)	173 (-30)
札幌市	812 (-124)	0 (-1)	938 (-143)

※平成26年累計・2月18日現在。
() は前年比

国民健康保険料の減免と 夜間延長について

3月31日(月)は平成25年度国民健康保険料第10期分の納期限です。納め忘れのないようにお願いします。

なお、平成25年中の所得が、失業などにより前年と比べて大幅に減少し、保険料の納付が困難になった方は、申請により保険料が減免になる場合があります。平成25年中の世帯全員の収入を証明する書類(確定申告書控え・源泉徴収票・給与明細など)を持参の上、ご相談ください。

また、平日の17時15分までに区役所へ納付相談にお越しになれない方に対して、夜間延長を行いますのでご利用ください。

▽夜間延長 3月27日(木)、28日(金)の20時まで。

※夜間延長は、庁舎南側玄関

からお入りください。
係(詳細) 保険年金課収納一・二係
☎(205) 33343

ダンボール・新聞・雑誌 の排出について



平成23年4月から「ダンボール・新聞・雑誌」の古紙三品目はごみステーションに排出ができなくなり、集団資源回収や回収拠点(古紙回収ボックス・古紙回収協力店など)を利用していただいております。春は引っ越しなどで家庭から大量にダンボールなどが出る時期ですので、集団資源回収・回収拠点のご利用をお願いします。

なお、区役所などで配布中のごみ分けガイドには、資源

物の回収拠点一覧の記載がありますのでご利用ください。
(詳細) 中央清掃事務所
☎(581) 1153

川への雪捨てや、川に近づくことはやめましょう

川に雪を捨てると流れが悪くなり、水があふれる原因になりますので、雪を捨てないようにしましょう。



また、川やその周辺の雪や氷は崩れやすく危険ですので、近づくのはやめましょう。

(詳細) 建設局河川管理課
☎(818) 3415

絵本リサイクル

ご家庭で眠っている

絵本はありませんか?

乳幼児期から絵本に親しむ環境づくりを進めるため、使用しなくなった絵本を譲っていただき、区内の保育所、幼稚園、子育てサロンなどで活用します。

▽対象 乳幼児向け絵本(汚れや破れのないもの)。

※図鑑・月刊誌は対象外です。

▽受付場所 健康・子ども課
子育て支援係に直接(南3西

11 中央保健センター2階4番窓口)。

▽受付期間 3月11日(火)~14日(金)の8時45分~17時15分。

(詳細) 健康・子ども課子育て支援係
☎(511) 6399

地区センター図書室 からのお知らせ

▽内容 ボランティア団体「雪わたりの会」による絵本の読み聞かせ。

▽日時 毎月第3火曜日の11時~11時30分。

▽会場 旭山公園通地区センター(南9西18)。

▽対象 乳児から就学前のお子さんとその保護者。

▽費用・申込 無料・不要。

(詳細) 旭山公園通地区センター
☎(520) 1700



図書室休室のお知らせ

中央区民センター図書室、旭山公園通地区センター図書室は、図書館システムの更新のため、次の通り休室します。
▽休室期間 中央区民セン

ター図書室…3月17日(月)~23日(日)、旭山公園通地区センター図書室…3月17日(月)~24日(月)。

※ブックポストへの本の返却はできません。返却処理は開室後となります。また、視聴覚資料の返却はできませんのでご注意ください。

(詳細) 中央区民センター図書室
☎(271) 1120
旭山公園通地区センター
☎(520) 1700

ご近所先生企画講座

自分が変わる会話術

〜人間関係がスムーズに〜(全5回)

▽日時 5月21日~6月18日の毎週水曜日18時45分~20時45分。

▽会場 中央区民センター2階会議室C(南2西10)。

▽定員 20人。

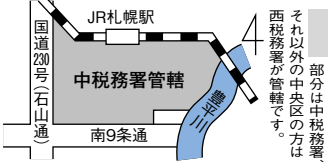
▽費用 受講料3千円、材料費300円。

▽申込 3月25日(火)必着で、①講座名②住所③氏名④年齢⑤電話番号を記載の上、ファクス、はがき、または生涯学習センターへ直接。多数時抽選。

(申込詳細) 生涯学習センター事業課(〒063-0051西区宮の沢1-1-1)
☎(671) 23311
☎(671) 23334

税の申告はお済みですか？

住民税（市・道民税）・所得税及び復興特別所得税・贈与税・消費税及び地方消費税の相談と申告書の受け付けを下表の通り行っています。お早めに申告してください。

区分	住民税の申告（市・道民税） ※所得税及び復興特別所得税の申告済みの方は不要。	区分	所得税及び復興特別所得税・贈与税の 申告と納税	消費税及び地方消費税の申告と納税 （個人事業者）
会場	中央市税事務所 （北2東4 サッポロファクトリー2条館4階）	会場	札幌中税務署（大通西10 札幌第二合同庁舎） 札幌西税務署（西区発寒4-1）	
期間及び時間	3月3日(月)～17日(月) 8時45分～17時15分 ※土・日は休みです。 ※期間初日は混雑します。 ※上記期間以前でも住民税申告の受け付けを行います。	期間及び時間	3月17日(月)まで 9時～17時 ※各会場とも土・日・祝日は休みです。 ※例年、受け付け最終日は大変混雑します。 ※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。	3月31日(月)まで 9時～17時
詳細	中央市税事務所 市民税課市民税係 ☎211-3914	詳細	札幌中税務署 ☎231-9311 札幌西税務署 ☎666-5111 ※自動音声案内に従ってお問い合わせください。	

申告の際には、源泉徴収票や社会保険料・生命保険料、医療費などの証明書（領収書）など、申告に必要な書類を忘れずにお持ちください。確定申告書は「前年の申告書控え」や「確定申告の手引き」などを参考にご自分で作成し、お早めに提出されるようお願いいたします。

※税務署から「確定申告のお知らせ」（はがきまたは封書）が届いている方は、そちらもお持ちください。

※国税庁ホームページ（<http://www.nta.go.jp/>）の「確定申告書等作成コーナー」を利用すると確定申告書が簡単に自宅で作成できます。作成した確定申告書は、印刷して郵送などにより提出できるほか、そのまま「e-Tax」で送信することができます。詳しくは国税庁ホームページを参照してください。

※平成24年分から贈与税の申告も「e-Tax」で送信できるようになりました。

●公的年金等を受給されている方へ

公的年金等の収入金額の合計額が400万円以下で、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合には、所得税及び復興特別所得税の確定申告をする必要がありません。

◆この場合であっても、所得税及び復興特別所得税の還付を受けるための確定申告書を提出することができます。

◆公的年金等に係る雑所得以外の所得があり、その所得金額が20万円以下で所得税及び復興特別所得税の確定申告が必要ない場合であっても、住民税の申告が必要な場合があります。住民税に関することは市税事務所までお問い合わせください。

信号機のある横断歩道など、安全な場所を横断しましょう。

中央老人福祉センター からのお知らせ

①自由参加講座

▽日程等 左表の通り。

▽対象 満60歳以上の方。

▽受講料 無料。

▽申込 不要。開講日時に合わせてセンター登録証を持参の上、直接同センターへ。

※登録証をお持ちでない方は、健康保険証などの年齢と住所を証明できるものを持参の上、窓口で登録をしてからご参加ください。

※開講日が変更になることがありますので、詳しくは同セ

ンターへお問い合わせください。

②修了作品展

▽内容 教養講座受講生（皮革工芸・ペン習字・フラワーアレンジメント・木彫・書道・陶芸・水彩画・絵手紙）の作品を展示します。

▽日時 3月12日（水）14日（金）の9時～17時（14日は15時まで）。

▽会場 社会福祉総合センター1階アトリウム（大通西

19）。

③ふまねつと講習会

▽内容 ゆっくりと網を踏まないように歩く体に優しい体操を学びます。

▽日時 3月12日（水）13時30分～15時。

▽会場 社会福祉総合センター1階視聴覚室（大通西

19）。

④健康づくり運動講座

▽費用・申込 無料・不要。

▽内容 運動指導員と実践形

式で運動を行います。

▽日時 3月26日（水）13時30分～15時。

▽会場 中央老人福祉センター1大広間（大通西19・社会福祉総合センター12階）。

▽定員 30人。

▽費用・申込 無料・不要。

※定員になり次第お断りすることがありますので、ご了承ください。

（詳細）中央老人福祉センター

☎（614）1001

<中央老人福祉センター自由参加講座>

講座名	開講日	時間
カラオケ	第1・2・3月曜日	13時～15時
健康表現体操	第1・3月曜日	13時15分～15時
フラダンス	第2・4月曜日	13時～14時30分
スポーツダンス	第1・2・3火曜日	10時～12時
民謡	第1・2・3水曜日	10時～12時
日本舞踊（西崎流）	第2・4木曜日	10時～12時
日本舞踊（泉流）	第2・4金曜日	13時～15時
なつかしの歌声	月1回不定期開催	10時～12時 または13時～15時
コントラクトブリッジ （トランプを用いたゲーム）	毎週土曜日	13時～15時

（健）康guide

（申込・詳細）健康・子ども課健やか推進係
〒060-0063 南3西11 ☎511-7223

胃がん・大腸がん検診

保健センターでは毎月1回、予約制で胃がん検診（バリウム検査）と大腸がん検診（便潜血検査）を行っています。

◆検診日・受付時間 4月～平成27年3月は、毎月第2木曜日の8時45分～10時。

◆会場 中央保健センター1階（南3西11）。

◆対象 職場などで検診を受ける機会のない40歳以上の市内在住の方。

※検診は、年1回で前回検診よりおおむね1年経過で受診可能。

◆費用 胃がん検診：700円、大腸がん検診：400円。

ただし、次の方は検診費用が免除されます。各証明書をご持参ください。

①70歳以上の方：健康保険証など年齢を確認できる公的書類。

②65～69歳で後期高齢者医療制度にご加入の方：被保険者証。

③生活保護世帯の方：生活保護受給証明書。

④支援給付世帯の方：本人確認証。

⑤市・道民税非課税世帯の方

下記ア・イのいずれか1つ。

ア）市・道民税課税証明書（18歳未満を除く世帯員全員分）。

イ）介護保険料納入通知書（保険料段階が第1段階・第2段階・第3段階のもの）。

◆持ち物 健康保険証や運転免許証など氏名・年齢・住所が確認できる公的証明書類、胃・大腸がん検診受診票、採便容器（大腸がん検診を申し込まれた方）、費用免除対象者は、各証明書。

◆申込 それぞれ希望日の10日前までに電話でお申し込みください。

中央区広報PR用ロゴデザインが決定

広報さっぽろ1月号で投票を呼び掛けました「中央区広報PR用ロゴデザイン」につきましては、総数343通の投票をいただきました。

集計の結果、石川愛梨さん（北海道造形デザイン専門学校）が制作した右の作品（広報さっぽろ1月号ではA）が最優秀作品に選ばれました。

新しいロゴデザインは、来月号から「広報さっぽろ区民のページ」表紙を飾ります。

また、投票に併せて広報さっぽろへの貴重なご意見・ご感想も多数いただきありがとうございます。

（詳細） 総務企画課広聴係 ☎205-3216



統計調査員募集

国が実施する各種統計調査に、中央区内で従事する統計調査員として登録していただける方を募集します。

◆応募資格 平成26年4月1日現在で満20歳以上であり、責任を持って調査事務を遂行できる方。

なお、税務・警察・選挙のいずれかに直接関係がある方などは応募できません。また、既に登録されている方はあらためて応募する必要はありません。

◆募集人員 20人程度（応募書類および面接により選考）。

◆仕事の内容 主に調査期間中に担当区域内の調査対象（世帯または事業所）を訪問して、調査票を配布・回収し、関係書類を作成の上、区役所に提出していただきます。なお、調査によって多少異なる場合があります。

※平成26年7月1日を調査期日として、あらゆる分野の事業所が調査対象となる「経済センサス基礎調査」が実施されます。

◆報酬 個々の調査によって異なるほか、同じ調査でも受け持つ調査対象の数によって異なります。

※平成21年に実施された経済センサス基礎調査の報酬額（平均70事業所）は3～5万円程度。

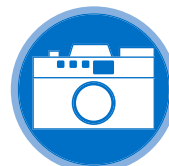
◆応募方法 「統計調査員応募用紙」に必要事項を記入し、写真貼付の上、中央区地域振興課へ郵送または持参（3月24日(月)必着）。

「統計調査員応募用紙」は、区役所および区内のまちづくりセンターで配布しているほか、区ホームページ（<http://www.city.sapporo.jp/chuo/>）からダウンロードできます。

応募者に対し、3月下旬に任意参加の説明会を開催後、4月上旬に面接を行い、4月下旬に選考結果をお知らせします。

※詳細は、区役所および区内のまちづくりセンターで配布しているリーフレット、または区ホームページをご覧ください。

◆応募用紙提出先・問い合わせ先 地域振興課統計担当（〒060-8612 札幌市中央区南3条西11丁目 中央区役所分庁舎（中央保健センター）6階）・☎205-3222



砂と振りまく、優しい心。

1/27



▲安心して通れるまちのために

市立中島中学校（南12西7）において、生徒たちが学校周辺の砂まき活動を行い、横断歩道などの滑りやすい場所へ丹念に砂をまきました。また、同校のほか、山鼻・柏・宮の森・伏見・啓明中学校でも、転倒防止のために生徒たちが砂まきを行いました。



◀みんな仲よく
手際よく

2/7

中島公園内9条広場において、地域の子どもたちなどによるゆきあかりin中島公園の点灯式が行われました。

一面の雪景色の中、スノーキャンドルの灯りが演出する幻想的な光景に、来場者は「きれい」「心が温かくなる」と感動していました。



▶願いを込めて
点灯

まちを彩る、雪の灯。



▲モノクロ写真で見てもすてきな景色

笑顔輝く、さっぽろの冬。

2/9



▲大倉山の風になる！

大倉山ジャンプ競技場においてウィンタースポーツフェスタin大倉山が開催され、多くの市民や観光客が来場しました。ランディングバーンを使ったチューブ滑りや、ジャンプ台脇の階段を上るツアーなどで、参加者は冬を満喫していました。



◀振り向けば
そこは絶景